

企業・団体の
CSR・SDGs担当者
環境教育を導入
したい学校等
関係者必見！

環境教育

から

～「体験型」でSDGsをデザインする～

未

来

社

会

を

つ

く

る

in Kyoto

日時 2022 11.13 日 13:00 - 16:30

会場 京都府立京都学・歴史館
京都府京都市左京区下鴨半木町1-29

参加費無料

Program

- 13:00-13:20 開会 主催者挨拶、来賓挨拶
- 13:20-14:00 基調講演 『「体験型」環境教育で未来社会をデザインする』
「体験の機会の場合」研究機構 会長 石坂 典子
- (14:00-14:10 休憩)
- 14:10-15:10 パネルディスカッション
 - 1 環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場合」の認定制度とは
 - 2 体験の機会の場合の認定を取得した事業者のメリットとは
 - 3 小中学校が求める企業・団体との連携とは
 - 4 企業・団体のブランディングを高めるSDGs・ESG活動とは
 モデレーター 「体験の機会の場合」研究機構 幹事長 熊谷 豊
 パネラー 環境省 大臣官房総合政策課環境教育推進室 室長補佐 富樫 伸介氏
 一般社団法人企業価値協会 代表理事 武井 則夫氏
 東京都多摩市立連光寺小学校 校長 関口 寿也氏
 加山興業株式会社 代表取締役 加山 順一郎氏
- (15:10-15:20 休憩)
- 15:20-16:25 「体験型」環境教育の事例発表
 - 1 学校の体験型環境教育事例「京都の里山の廃校で学ぶ」
京都大学 地球環境学 准教授 浅利 美鈴氏
 - 2 行政の体験型環境教育事例「気候変動について考えるオープンスクール」
京都府 府民環境部 理事 島田 和幸氏
 - 3 社団法人の体験型環境教育事例「八ヶ岳『自然体験プログラム』のデザインの秘訣」
公益財団法人キープ協会 環境教育事業部 事業部長 鳥屋尾 健氏
 - 4 民間企業の体験型環境教育事例「協働で目指す『体験型』環境教育プログラム」
藤クリーン株式会社 経営企画部 小林 未侑氏
- 16:25-16:30 閉会

お申込み
QRコード
(申込締切 11/9 21:00)

【主催】Green Blue Education Forum実行委員会
 【共催】環境省
 【後援】文部科学省、渋谷区、京都府、京都市、京都環境文化学術フォーラム
 【特別協賛】石坂産業株式会社、大和リース株式会社
 【協賛】株式会社自然共生ホールディングス、医療法人財団綜友会
 社・本郷税理士法人、前田建設工業株式会社、株式会社西尾硝子鏡工業所
 【サポーター】小田急不動産株式会社、近藤建設株式会社
 株式会社ティーアールシー高田、千葉測器グループ
 株式会社電弘、医療法人社団ヒロ横浜デンタル
 【協力】「体験の機会の場合」研究機構、一般社団法人企業価値協会
 特定非営利活動法人雨煙別学校、株式会社オガワエコノス
 加山興業株式会社、公益財団法人キープ協会
 サンデンフォレスト、株式会社相愛、株式会社中特ホールディングス
 株式会社ナカダイ、藤クリーン株式会社



お問合せ
Green Blue Education Forum実行委員会
 (石坂産業株式会社内「体験の機会の場合」研究機構事務局)
 TEL:049-259-5800 (受付時間/平日 8:00-17:00)
 MAIL:info@esd-place.org